

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

Advanced neoplasiaにおける大腸内視鏡観察時の短軸方向性分布に関する後ろ向き観察研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2018 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日に昭和医科大学病院消化器内科で大腸内視鏡を行った患者さん

2. 研究目的・方法

本研究は、大腸内視鏡検査で発見された「進行した大腸ポリープや早期大腸がん」が、内視鏡画面上のどの位置で発見されやすいかを調べる研究です。大腸内視鏡検査では、大腸ポリープや大腸がんを早期に発見し切除することで、大腸がんによる死亡を減らすことが期待されています。しかし、実際には一部の病変が見つかりにくい場合があることが知られています。近年、内視鏡画面の特定の方向で病変発見率が低い可能性が報告されており、その影響を詳しく調べることが重要と考えられています。

本研究では、2018 年 1 月から 2025 年 12 月までに昭和医科大学病院で大腸内視鏡検査を受けられた患者さんのうち、進行した大腸ポリープや大腸がんが見つかった方を対象とします。診療録や保存されている内視鏡画像を用いて、病変が内視鏡画面上のどの方向で発見されたかを後ろ向きに解析します。

本研究では、通常診療で得られた情報のみを使用し、新たな検査や治療を追加で行うことはありません。また、研究に使用する情報は研究用の番号に置き換え、氏名などの個人情報が出ない形で解析を行います。

本研究により、病変が見つかりにくい方向の特徴が明らかになれば、将来的に内視鏡観察方法の改善や診断精度向上につながる可能性があります。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 9 月 30 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、診療録に記載された年齢、性別、BMI、抗血栓薬内服の有無、大腸癌家族歴、既往歴、検査目的、前回大腸内視鏡検査歴、検査日、使用スコープ、鎮静薬の使用と種類、鎮痙薬の使用と種類、腸管前処置評価、盲腸到達の有無、挿入時間、抜去時間、内視鏡医、内視鏡医経験年数、AI 支援使用の有無、フード装着の有無、病変番号、病変部位、病変サイズ、肉眼型、NBI 所見、治療方法、病理所見、内視鏡画像による病変の腸管短軸における方向に関する情報を収集します。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和医科大学病院 消化器内科 氏名 片桐 敦

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院 消化器内科

氏名：片桐 敦

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号： 03-3784-8535（消化器内科医局）